



ビデオエンコーダー

ENCODER-100

取扱説明書 v1.10



■ 目次

安全上の注意	2
警告	2
注意	2
製品の特長	3
推奨	3
Encoder-100 について	3
仕様	3
クイックスタート	4
始める前に	4
CORIOgrapher を使用して Encoder-100 を設定	4
ストリーミングメディアを再生する	5
トラブルシューティング	5
コンプライアンス	6

安全上の注意

この度は tvONE 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- ・AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・万一、落したり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- ・以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- ・配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■ 梱包内容

本機を使用する前に次のものが梱包箱に入っていることを確認してください。万が一足りないものがありましたら、購入された販売店までご連絡ください。

- ・本体 × 1
- ・AC 電源アダプター × 1
- ・電源コード × 1

製品の特長

Encoder-100 ストリーミングメディアエンコーダは、CORIOmaster のストリーミングメディア& 4K 再生モジュールに高品質のビデオとオーディオをストリーミングすることができます。

- ・シングルチャンネルのストリーミングエンコーダ
- ・ビデオとオーディオを高品質のデジタルストリームに変換します
- ・H.264 圧縮による高品質で低帯域幅のエンコード
- ・最大 60 フレーム / 秒のフル 1080pHD をサポート
- ・ユニキャストおよびマルチキャストストリーミングをサポート
- ・HDMI 入出力
- ・アナログオーディオ入出力
- ・ビデオ信号とストリームを別々にプレビュー

推奨

ギガビットイーサネットケーブルをご使用ください。シールドタイプを推奨します。シールドされたイーサネットケーブルには、F/UTP または FTP とマークされています。

Encoder-100 について

Encoder-100 背面パネル



DC 5V	付属の AC 電源アダプターでコンセントに接続します。
LAN	H.264 でエンコードされたストリーミングをネットワークに送信します。イーサネットネットワークに接続します。
PREVIEW	エンコードされた信号をプレビューすることができます。VGA ケーブルを使用してディスプレイに接続します。
HDMI OUT	エンコードされた信号をプレビューすることができます。HDMI ケーブルを使用してディスプレイに接続します。
HDMI IN	ソース機器から HDMI 信号を入力します。HDMI ケーブルでソース機器と接続します。
AUDIO OUT	オーディオ信号をプレビューすることができます。3.5mm ステレオミニケーブルでオーディオ機器と接続します。
AUDIO IN	ソース機器からアナログオーディオ信号を入力することができます。3.5mm ステレオミニケーブルでソース機器と接続します。

注：オーディオは CORIOmaster micro でのみサポートされています。

仕様

ビデオ入力.....	HDMI
ビデオ出力.....	HDMI、VGA
最大対応解像度.....	1920 × 1080P60、1920 × 1200
音声対応.....	L-PCM(HDMI)
ライン入力.....	3.5mm ステレオ
ライン出力 (ループアウト).....	3.5mm ステレオ
ネットワークコネクタ.....	RJ-45
圧縮規格.....	H.264/MPEG4 Part10(AVC)
ビットレート.....	100Kbps ~ 20Mbps
電力.....	DC5V,15W
動作温度.....	0 ~ 45°C
保管温度.....	-40 ~ 55°C
動作湿度.....	20 ~ 80%
保管湿度.....	5 ~ 95%

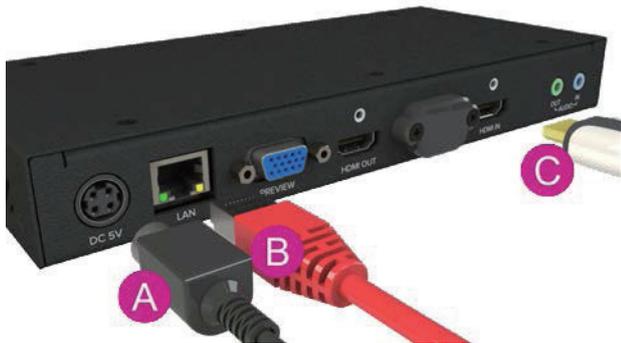
クイックスタート

Encoder-100は、CORIOgrapher ソフトウェアを使って操作します。判らないことは“?”(ヘルプ)を使って検索できます。

Encoder-100 は、HDCP コンテンツをエンコードできません。

始める前に

Encoder-100 を使用するには、CORIOmaster にストリーミングメディア & 4K 再生モジュールが装備されている必要があります。



- A、AC 電源アダプターをコンセントに接続します。
- B、イーサネットケーブルを DHCP 対応ネットワークに接続します。
- C、ソース機器に HDMI ケーブルを接続します。
例えば、カメラや内視鏡またはメディアプレイヤーなどです。

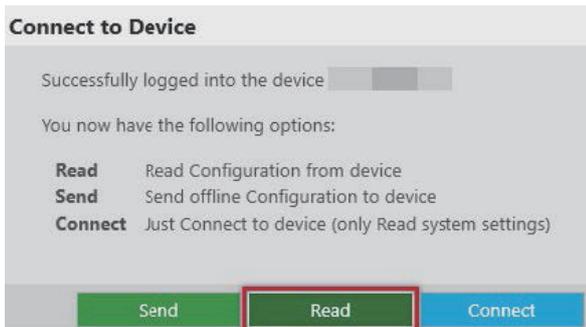
アナログオーディオをストリーミングしたり、オーディオをプレビューする場合は 3.5mm ステレオミニジャック (Audio IN/OUT) を使用します。ストリームをプレビューする場合は、VGA ケーブルを PREVIEW に接続するか、HDMI ケーブルを HDMI OUT に接続して、ディスプレイで表示させます。



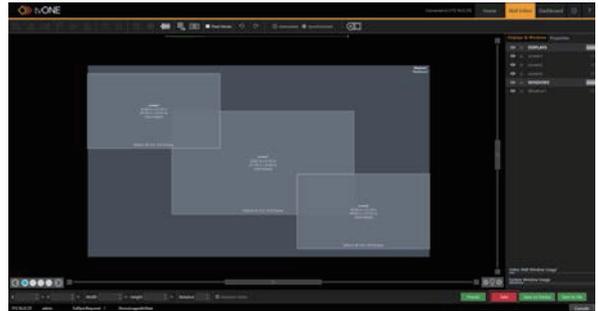
CORIOgrapher を使用して Encoder-100 を設定

※ Encoder-100 は、デフォルトで DHCP モードになっています。初めて使用する場合は、DHCP 対応ネットワークに接続してください。

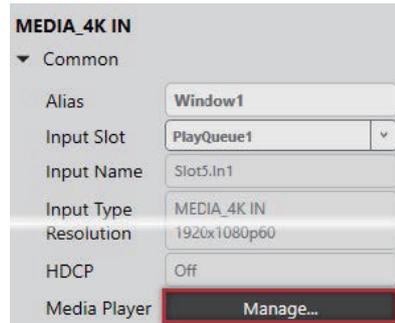
- CORIOgrapher ソフトウェア を起動し、CORIOmaster にログインした後、Read を選択して CORIOmaster 本体の設定を CORIOgrapher に読み込ませます。



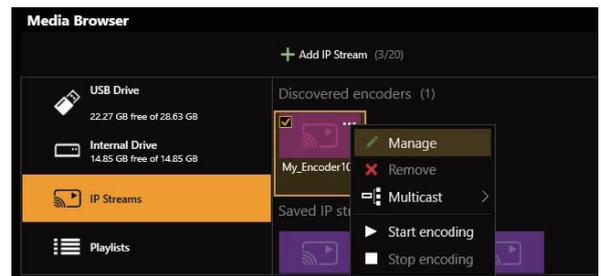
- 予め設定したビデオウォールにストリーミングメディア & 4K 再生モジュールのウィンドウを追加して Take ボタンを押します。



- 追加したウィンドウをダブルクリックし、表示されたウィンドウのプロパティから Media Player 項目の Manage を選択します。



- IP Streams を選択し、認識されている Encoder-100 のアイコンの右上の「...」をクリックし Manage を選択します。

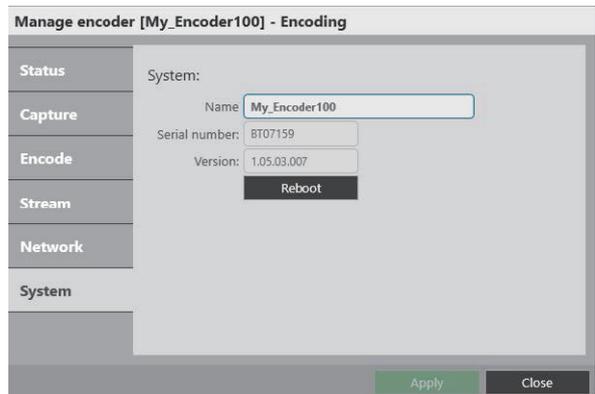


初めて接続した際には、Encoder-100 のアイコンの名称に固有のデバイス ID が付けられています。デバイス ID は Encoder-100 本体の底面のシールで確認できます。

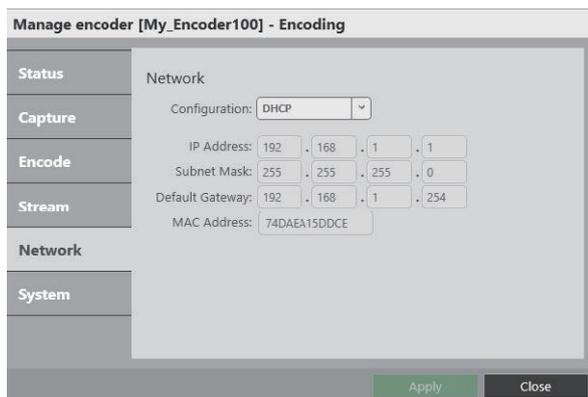
もし Encoder-100 が認識されていない場合は、Find を選択し、Encoder-100 の URL を入力して検索します。

※ Encoder-100 と接続できない場合は、5 ページのトラブルシューティングを参照してください。

- System タブを選択し、Encoder-100 の名前を任意に変更することができます。



6. Network タブを選択し、Encoder-100 の IP アドレスを設定します。



■ DHCP を選択すると、ネットワーク内の DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

■ Static を選択した場合は、IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイを手動で入力します。

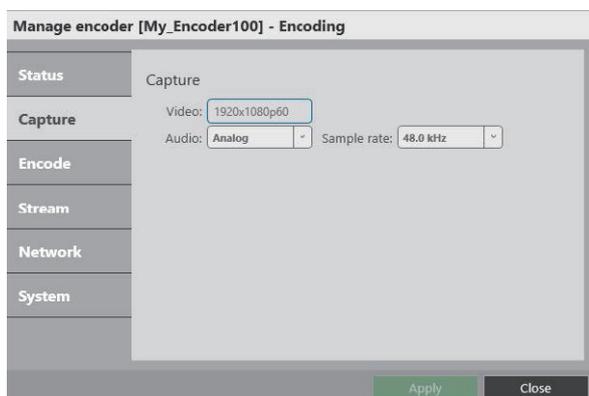
ネットワークの設定は、ネットワーク管理者にご相談ください。

Static IP アドレス

- Static を選択する場合は、IP アドレスが重ならないように注意してください。同じ IP アドレスを設定すると接続できなくなります。詳細は、ネットワーク管理者にご相談ください。

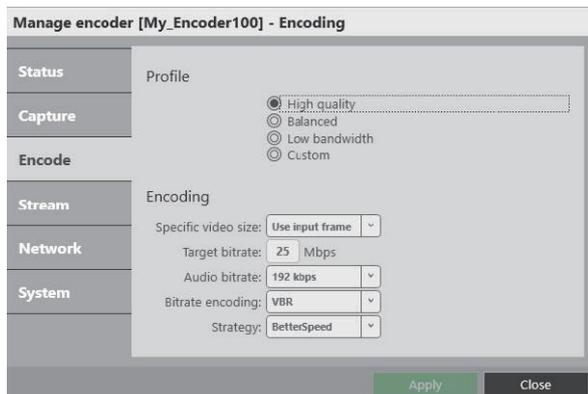
7. Capture タブを選択し、オーディオソースの選択が正しいことを確認します。

※もし HDMI ビデオにオーディオがエンベデッドされていない場合は、「なし」または「アナログ」を選択します。

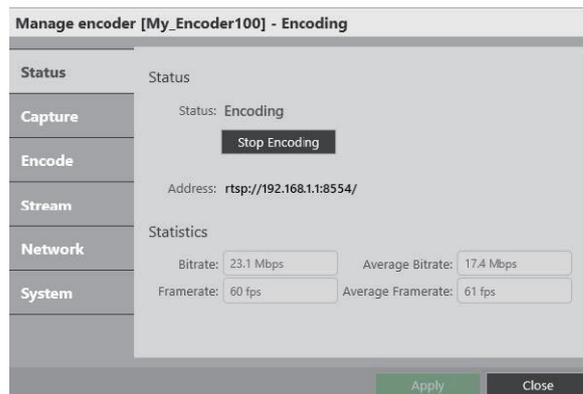


8. Encode タブを選択し、Profile 項目でストリーミングの品質を選択します。

品質を変えると Encoding 項目のビットレートなどの数値が変わります。デフォルトは High quality が選択されています。

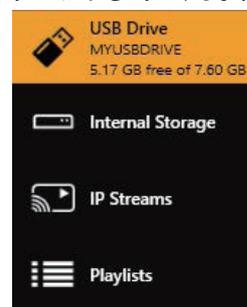


9. Status タブを選択し、Start encoding ボタンを押しエンコードを開始させます。



ストリーミングメディアを再生する

IP Streams を選択し、設定した IP ストリームを再生キューにドラッグします。再生ボタンを押してストリーミングをスタートします。



操作方法の詳細は、CORIOgrapher のマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング

●CORIOgrapher ソフトウェアで、Encoder-100 に接続できない。

問題は

- Media Browser 画面で Encoder-100 が見つからないので、手動で IP アドレスを追加しようとしたが見つからなかった。
- Encoder-100 は見つかったが、接続してメディアをストリーミングすることができない。

原因は

- Encoder-100 が CORIOgrapher を実行している PC と同一ネットワーク上にない可能性があります。また、Encoder-100 はデフォルトで DHCP を使用する設定になっています。
- Encoder-100 が UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)や API コマンドを通過させないルーターの外にある可能性があります。

対処は

- Encoder-100 を工場出荷時の設定にリセットします。
 - CORIOgrapher を実行している PC のネットワーク設定を DHCP モードにします。
 - この PC と Encoder-100 が同一ネットワーク上にあることを確認します。
- 以上を設定後、Encoder-100 に接続します。

もし、意図的に PC と Encoder-100 を異なる物理ネットワークに接続したい場合は、次の手順を実行します。

- Encoder-100 と CORIOgrapher を実行している PC を一時的に同一ネットワーク上に接続し、Encoder-100 を設定します。Encoder-100 を static モードにし、IP アドレスを手動で設定します。

- 2、その IP アドレスをメモします。
- 3、Encoder-100 と PC を異なる物理ネットワークに接続を戻します。
- 4、手順 2 でメモした IP アドレスを持つ IP ストリームを手動で追加します。

以上です。

もし、うまくいかない場合は、ネットワーク設定が正しいかどうかを確認してください。ネットワーク設定の詳細は、ネットワーク管理者に相談してください。

不明点は、販売店にお問い合わせください。

コンプライアンス

この製品は FCC および CE の規制に準拠していることをテストしています。また、AC 電源アダプターも UL、CUL、CE、PSE、GS に準拠していることをテストしています。

本体および AC 電源アダプターは RoHS に準拠しています。



- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

HIBINO

ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <http://www.hibino-intersound.co.jp/>